

法華寺だより



二十回彼岸会法会

春のお彼岸ですよ

今年の冬も様々有り
 ましたが、春本番も間近。
 十七日から二十三日まで
 が今年の春の彼岸。二十
 日は彼岸の中日（春分の
 日）としてお寺で法要も
 執り行いますのでお待ち
 しています。

お彼岸は**到彼岸**を略し
 た言葉です。苦しみや迷
 いに満ちたこの世界を**此
 岸**、諸々の苦しみを越えた

世界を**彼岸**といえます。日
 々の精進と修行によって悩みや迷
 いの**此岸**から悟りと救いの世界で
 ある彼岸へ到達するのが**到彼岸**。
 彼岸に到達するための修
 行（心構え）が**六波羅蜜**。単純に
 表現すれば「施しをする、譲り合
 う、耐え忍ぶ、励む、心安らかに、
 智慧を学ぶ」です。日々の生活を
 このような心掛けで過ごすあなた
 ならば、大丈夫ですよ

南無妙法蓮華經

日蓮宗のお経は 方便品

ほうべんぼん
 その二
 成就甚深

みぞうほう ずいぎしよせつ いしゆなんげ
未曾有法 随宜所説 意趣難解
 しゃりほつ じじゆうじようぶつ しゆじゆいん
舍利弗 吾従成仏已来 種々因縁
 しゆじゆひゆ こうえんこんぎよむしゆほうべん
種々譬喩 広演言経 無数方便
 いんどうしゆじりようりしよじ しょういしやが
引導衆生 令離諸著 所以者可
如来方便 知見波羅密 皆已具足

【現代語音訳】

非常に奥深くかつてない教え
 を成し遂げた仏は、随時または
 適宜に教えを説きました。その
 真意は理解され難いものです。
 舍利弗よ、私は仏と成って以
 来様々な因縁や比喩、あるいは
 は方便によって人々を悟りへ導
 き、様々な執着から離れさせま
 した。それが出来たのは、如来
 は方便と真実の智慧を全て既に
 身に備えているからです。

知っていますか？
 この言葉の意味

『因縁』（いんねん）

結果を引き起こす直接の内
 的原因を**因**、間接的に働きか
 ける外的原因を**縁**という。
 仏教では、全ての事象（生じ
 ること、消滅・解決すること）
 にこの二つの原因があるとさ
 れる

六波羅蜜

あなたも心掛けている

その（一）布施を施す

- ◎ 無形の善行
 - ・ 智慧や教えなどの法施
 - ・ 明るく優しい顔で接する
 - ・ 温かい言葉をかける言施
 - ・ 恐怖心を取り除き穏やか
な心を与える無畏施
 - ・ 何かお手伝いをする身施
 - ・ 善い行いを褒める心施
 - ・ 席を譲る座施
 - ・ 場所を提供する舍施等
- ◎ 有形の善行
 - ・ お金や品物等を施す財施

『方便』（ほうべん）
 便宜的な方法を以て、人々の資
 質に応じて教えを説く

『如来』（にょらい）
 真理からやって来たもの
 仏のこと

『波羅密』（はらみつ）
 迷いの世界から悟りの世界へ至
 ること

合掌



ご案内

三 月
 十三日 婦人会総会
 二十日 彼岸会法要

四 月
 八日 釈尊降誕会・花祭り



心といのちの相談所
 老若男女幾つになっても悩
 みや心配事の絶えないも
 の
 …… ご来所やお電話を…

今月の聖語

ぶつきよう
仏教をならはん者の
ふぼしたくみ
父母師匠国恩を
わす

忘れるべしや

【知恩報恩】

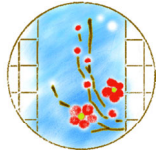
私達は誰かの厄介にならなければ、生まれることも死ぬことも出来ないのです。産湯に浸かることも、棺桶に入ることもです。「恩」という字は、因に心をよせたものです。仏のご恩に報いたいと願う聖人の決意です

〔報恩鈔〕より

日蓮聖人御遺文

覚書 二月

三日 節分法要・星祭り
新焼却炉入魂祈祷
二十五日 帯刑教誨



一 休 み

●「日蓮宗信行読本」より（拾い読み）●
第六章 生活を導く日蓮聖人のことば

7、男のしわざは

女の力なり その①

隆さんと京子さんというご夫妻が居ます。隆さんは真面目に仕事をしているのですが、上司から評価されなため転職を考え、週末などには求人広告の会社訪問を繰り返していました。隆さんは会社訪問から帰るとその様子を京子さんに話し、二人で相談していました。二人で話し合った結果は、給料の良い会

心 奉仕に感

☆☆☆☆
☆布薩会と婦人会様 法会等の諸準備ご苦勞様です

法華經名句 私撰

（勸持品第十三）その2

あつきにゆうごしん めりき にくが
悪鬼入其身 罵詈毀辱我

が とうきようしんぶつ とうぢやくにん
我等敬信佛 當著忍

松本慈恵師の解説参照

悪鬼がその身に入ったよ
うな人は、私をののしり、
そしり、はずかしめるだろ
う。それでも私達は仏を敬
い信じたてまつて必ず、
忍辱の鎧を身につけている
ように堪え忍びます
何故悪鬼がその身に入る
のでしよう？ 食いや嫉妬
心で不善を行うからです
五濁の世界になる



社でも隆さんの仕事を評価してくれなければ止めよう。社長さんなどの人間性の善い会社に入社したい。京子さんが法華經の信仰をして学んだことは、人には与えられた役目が有り、それを受け止めて、「と生きる」ことが大切。それ故二人は、人そのものの仕事そのものを認めてくれる会社で働き、時間があれば法華經を学ぶ時間を作りたいと考え転職先を探し続けました。半年後、隆さんの技術力と純朴な人柄を評価してくれる会社に入社しました。「男性の本領は女性によって発揮される」「男性には支えてくれる女性がいて安心して仕事が出来る」女性に男性のエネルギー源

参照・引用

- ※ 日蓮聖人聖語カレンダー
- ※ 「日蓮宗のお経」
- ※ 「法華經名句辞典」 松本慈恵
- ※ 「日蓮検定」
- ※ 日蓮宗新聞 その他

編集 後記

◆ 日蓮聖人の著書や書簡等が数多く残されています◆ 中でも五大部分と称される「立正安国論、開目抄、歡心本尊抄、撰時抄、報恩鈔」が有名です◆ 私は殆ど手にとつてもいせんが◆ 易しい解説書からでも挑戦しようかなと思つています◆ 法華寺釈迦堂の図書コーナーに立正安国論が何冊か有ります◆ 皆さんもいかがですか◆◆◆

◆ 山崎記 ◆